



令和5年5月1日発行
第70号

ながわまち 議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会■

■編集／広報常任委員会■

●長和町議会 令和5年3月定例会

- ◇ 町長提案理由の説明 ○○○○○○○○ 2
- ◇ 令和5年度予算 ○○○○○○○○○○ 3
- ◇ 予算特別委員会／討論 ○○○○○○ 6
- ◇ 常任委員会審査報告 ○○○○○○○○ 10
- ◇ 意見書を提出しました ○○○○○○○○ 12
- ◇ 一般質問 ○○○○○○○○○○○○○○ 13
- ◇ 視察研修／組合広域議会 ○○○○○○ 22
- ◇ 議会モミタ一会議 ○○○○○○○○○○ 27
- ◇ 長和町「あの人を訪ねて」 ○○○○○○ 28

★立岩「駒形岩」の春★

(26ページに写真の説明を掲載しています)

3月議会

長和町議会 令和5年3月第1回定例会が、長和町役場議場に於いて、2月28日(火)から3月17日(金)までの18日間の会期で開かれ、報告3件、発議1件、発委1件、承認1件、条例案8件、令和5年度予算案10件、令和4年度補正予算案9件、指定管理者の指定2件、契約案1件、その他案3件について審議を行いました。

また、8人の議員が一般質問を行いました。

町長提案理由の説明

「しあわせ長和町」を実現するために
必要な事業を着実に実施します



感染症に対する取り組み
や自然災害に対する備え
をしっかりと進めます

国は5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類を2類から5類へ変更する、マスクの着用については3月13日より個人の判断に委ねるなどを発表していますが、町では引き続き県との情報の共有を図り、町民の皆様の命と健康を守るための取組を

全力で進めてまいります。

さて、2月6日にトルコ南部で相次いで発生したM7を超える地震では、多くの建物が倒壊し、国境を接するシリアと合わせ5万人以上の死者が出ております。奇しくも今議会中の3月11日には、東日本大震災から12年目を迎えます。地震などの自然災害は、いつ、どこで起こるかわからない、一度発生すれば、多くの人命が失われインフラなどにも甚大な被害を及ぼします。長和町におきましても、自然災害に対する備えをしっかりと進めてまいりたいと改めて痛感したところでです。

「誰一人取り残さない持続可能な長和町」を目指した予算編成に

令和5年度予算編成にあたっては、国の動向や急激に変化する社会経済情勢の動向を踏まえ、第2次長和町長期総合計画後期基本計画、第2次長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略、そして、私の公約『Nagawa Next Vision V』を指針に、町がおかれている厳しい財政状況を考慮しながらも、「誰一人取り残さない持続可能な長和町」を目指して編成作業を行いました。

社会経済情勢の変化、人口減少や少子高齢化といったこれまでの課題に加え、新型コロナウイルス感染症対策、デジタルトランスフォーメーションへの対応、脱炭素の推進などに対応していくため、限られた財源を有効活用し、安心・安全な暮らし、豊かな地域社会、

町民の皆さまの「しあわせ長和町」に繋がる必要な事業を着実に実施できる予算としました。

令和5年度長和町一般会計当初予算は、総額56億6300万円で、前年度当初と比較すると2億5700万円、4.3%の減、特別会計と合わせた総額で77億4981万円の予算案としました。一般会計予算の主な内容として、新型コロナウイルス感染症対策として交付金事業を基軸に関連する支援を積極的に行い、また、令和元年及び令和3年度災害の被災箇所への復旧完了を目指します。新規事業としては、議会における会議用タブレット端末、地域アプリ、書かない窓口システム等の導入を行いデジタル化事業に取り組むほか、地域脱炭素化実行計画(仮称)の策定を進め、長和町における脱炭素化に向けて鋭意取り組みます。

(抜粋)

令和5年度 予算

一般会計 56億6,300万円

令和5年度一般会計・特別会計予算を可決しました!

町のお金はどんな事業に使われる?

特別会計 20億8,681万円

令和5年度 長和町会計別予算額

会計名	5年度予算額	4年度予算額	増減額
一般会計	56億6,300万円	59億2,000万円	△2億5,700万円
国民健康保険特別会計	7億9,000万円	8億800万円	△1,800万円
国民健康保険歯科診療所事業特別会計	1,500万円	1,500万円	0万円
後期高齢者医療特別会計	9,300万円	9,300万円	0万円
介護保険特別会計	10億8,500万円	10億9,600万円	△1,100万円
同和地区住宅新築資金等貸付特別会計	661万円	522万円	139万円
観光施設事業特別会計	9,720万円	9,200万円	520万円
特別会計合計	20億8,681万円	21億922万円	△2,241万円
合計	77億4,981万円	80億2,922万円	△2億7,941万円

令和5年度 上水道事業会計予算額

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益	2億5,851万円 給水収益 1億5,027万円, 他会計補助金 2,134万円 他
	事業費用	2億8,739万円 減価償却費 1億6,083万円, 支払利息等 1,912万円 他
注) 収益的収支とは、水道料金などの収入と、運営に必要な維持管理費、減価償却費などの支出を表します。		
資本的収支	資本的収入	4,888万円 他会計補助金 4,259万円 他
	資本的支出	8,478万円 建設改良費 291万円, 企業債償還金 8,088万円 他
注) 資本的収支とは、施設の建設や更新に関する投資的な収入と支出を表します。		

令和5年度 公共下水道事業及び排水処理施設事業会計予算額

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益	4億7,002万円 下水道使用料 1億1,067万円, 補助金 1億2,599万円 他
	事業費用	4億6,044万円 減価償却費 3億918万円, 支払利息等 2,245万円 他
資本的収支	資本的収入	1億7,923万円 他会計補助金 1億3,548万円 他
	資本的支出	3億2,403万円 建設改良費 3,205万円, 企業債償還金 2億9,098万円 他

注目する令和5年度事業 —

こんな施策に使われます!!



Tafuku



住宅用太陽光発電システム補助金
住宅用蓄電池システム補助金 新設

60万円+60万円

地球温暖化対策設備設置補助事業として住宅用太陽光発電システム設置補助事業を継続するとともに、住宅用定置型蓄電池システム設置補助事業を新たに開始。省エネ・地球温暖化防止施策の向上に取り組みます。



Hata



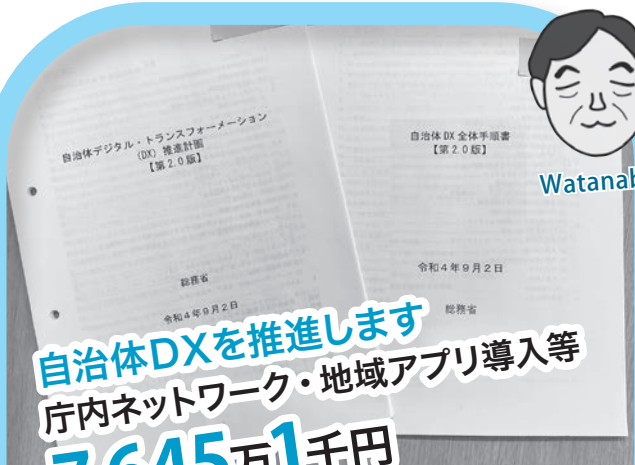
黒耀石大使がオランダ・英国へ
歴史遺産を活かした国際交流事業

1,777万6千円

英国との国際交流事業を継続・推進します。黒耀石大使の3期・4期生が、8月にオランダ経由でシーボルトコレクシヨン「ホシクソ」の調査を行い、英国で黒耀石文化のプレゼンや石器つくりの指導を行います。



Watanabe



自治体DXを推進します
庁内ネットワーク・地域アプリ導入等

7,645万1千円

行政事務の円滑な遂行のために庁内ネットワーク機器の入替と町ホームページの脆弱性を解消する更新を実施。また、情報発信の一元化を目指す「地域アプリ」書かない窓口システム」導入など自治体DXを推進します。



Harada



子育て支援事業を拡充します
出産・子育て応援給付金事業、
子育て応援給付金事業等

710万円

出生、小学校・中学校入学時に給付金を交付する子育て応援事業に加え、妊婦と子育て家庭に寄り添う伴走型相談支援と経済的な支援を一体的に行い、給付金を支給する事業を行います。乳幼児一時保育等を補助します。

— 私たち予算特別委員会が

令和5年度 私たちのお金は



和田峠中山道災害復旧工事を実施
中山道、長久保宿・和田宿保存整備費

2,213万8千円

長和町の重要な史跡の一つである中山道及び和田宿・長久保宿に関する保存整備活用事業を推進します。歴史の道中山道の橋梁修理と災害復旧工事を行い、国史跡に選ばれた長久保宿本陣跡の整備事業に着手します。



空家の適正な管理を進めます
特定空家等解体補助金、協議会費用

60万5千円

空き家対策計画に基づき、空家の発生抑制や維持管理、活用や除却等の方針を決定します。令和4年度の調査を受け、5年度の空き家等対策協議会の審査で危険家屋に指定、50万円は特定空家解体1件の補助。



「いこいの丘公園」に遊具を設置
いこいの丘公園改修工事

3,349万4千円

依田窪病院の東にある「いこいの丘公園」に大型遊具と案内看板を設置し、子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい魅力的な公園に整備。遊具選定に際して令和4年度に保育園と小学校にアンケートを行いました。



(仮称) 地域脱炭素化実行計画策定に着手
再生可能エネルギー普及推進事業

1,685万6千円

昨年の気候非常事態宣言を受け、再生可能エネルギー導入に向け「地域脱炭素化実行計画(仮称)」策定を推進。地球温暖化・景観対策担当を新設し、補助事業の充実、省エネ・地球温暖化防止施策の向上を図ります。

予算特別委員会で徹底審査！ 令和5年度一般会計予算審査報告



渡辺予算特別委員長

長和町議会では、令和5年度長和町一般会計予算を審査する予算特別委員会を設置し、3月7日(火)と8日(水)に審査を行いました。活発な質疑の後、採決を行い、賛成多数で可決すべきものと決定されました。以下に審査の内容を抜粋して掲載します。

■ 予算特別委員会は、2月28日(火)の議会開会日に議員発議により提案され、設置されました。議長と議会選出監査委員を除く8名の議員で構成され、渡辺副議長を委員長に選出、順次審査を行いました。

和田保育園の存続は？

2億9,552万5千円

児童運営費	1585万1千円
和田保育園運営経費	3970万5千円
ながと保育園運営経費	

問 和田地区の子どもが少なくなり、和田保育園の存続が心配である。こども健康推進課としてどう考えているか。

答 数年後には各年代一人になつてしまうのではないかとの見込みもある。ただ、保育園と小学校は一緒に考えていかなければ

ならないと考える。

問 保護者の間でも、保育園を統合した方が良いのでは等の話もある。不安を感じている保護者もあり、説明やアンケートの実施をお願いしたい。

答 和田地区に宅地造成や町営住宅を検討するなど、子どもを増やせないか考えている。また、自然豊かな田舎で育てたいという小学校の山村留学と併せ、保育園への受け入れなどの方策を考えた。

問 保育園バスへの安全装置の設

置はどうなっているか。

答 令和5年度の補正予算により



春の花が咲く和田保育園

安全装置を設置したい。安全チエックマニュアルを作成し、保育園とバス運行委託業者での安全管理を徹底する。

脱炭素化に向けて始動！

956万1千円

**地域脱炭素化実行計画
策定等支援業務委託料**

問 地域脱炭素化実行計画策定委員会(仮称)について、その構成は。また、開催及び策定はいつ頃になるか。

答 町のポテンシャル調査、その対策等の検討を行い、計画策定を進めていきたい。構成委員については、現段階で具体的に決めていない。地域の方、専門的な知識を有する方を含め、構成委員を検討していきたい。

問 脱炭素先行地域には応募できないと思うが、令和5年度ではどのあたりまで脱炭素の計画が進められるのか。

答 令和4年度の国の第二次補正が3月27日を期限に募集が始まるので、申請を行えるよう進めている。補助金が獲得できた場合は、令和6年1月31日までに



黒耀石大使 長崎研修

事業が完了する計画となる。環境省との情報共有では、計画の策定が進んで、事業完了の目途が立てば、令和5年度の募集に応募しても構わないと言われている。

黒耀石大使8月に英国へ

歴史遺産を活かした国際交流事業

1,777万6千円

問 3期・4期生計16名に同行する人員は。また、その人数で十分か。

答 調査活動を指導する研究者3名と、渡航および交流事業の補佐をする職員3名によって構成

する計画である。1期生14名の渡航の際は、引率5名であった。今回は、昨年の11月に訪問先の下見を行っており、渡航期間中は現地スタッフも加わる。

問 国際交流事業の財源内訳は。また、ふるさと納税の導入も検討しているか。

答 財源は、大使の個人負担金7万5千円と寄付金、町の一般財源を基本としているが、自治体国際化協会や東芝財団等の補助制度に申請し、資金の獲得に努めている。ふるさと納税からの助成も頂いているが、さらに拡充する検討をしている。

町の財政が厳しいのは

**依田窪医療福祉事務組合
負担金／特定環境保全公
共下水道事業操出金／行
政事務包括業務委託料**

(合計) 9億443万7千円

問 事業説明の中で、町の財政状況が厳しいと職員が言っているが、財政を担う立場からどこが厳しいのか説明を。

答 歳出の中で一番大きいのは、依田窪医療福祉事務組合への依

田窪病院を維持運営するための負担金4億3655万3千円や町全体の行政事務包括業務委託料2億816万2千円、特別会計では下水道への繰出金2億5972万2千円等がある。これまで積み上げてきた事業もあり同じようにやっていけば自由に使えるお金も少なくなる。それに限らず、町民の皆様のために実施してきた既存事業等の経常経費が多くあり、増加しているためかと思う。

CATV運営のあり方は

**ケーブルテレビ施設
運営費**

7,488万3千円

問 長和町振興公社へのケーブルテレビ業務委託料が令和4年度と比べて100万円増えている理由は。

答 職員の昇給などがあり、今までの委託料では不足額が生じるため、振興公社と協議した結果今年から100万円増というところで調整した。

方検討委員会では、いつごろまでに結論を出す予定か。

答 振興公社の社長と協議した中で、令和5年9月の決算時までにはケーブルテレビ運営に関する方向性を決め、令和6年の4月以降から始まる新会社時には新しい体制でスタートできるようにスケジュールで検討を進めていきたいと考えている。

マルシェ黒耀は売上増

**道の駅直売施設一般
管理委託料**

1,800万円

問 道の駅のマルシェ黒耀は、順調に売上げが伸びているにもかかわらず、指定管理料はなぜ据え置きなのか。

答 売上げが伸びるとその分人件費も増える。今年度の決算は、収入約6200万円に対し経費が約6500万円となり、赤字の見込みである。

問 指定管理者の指定について3年が経過する。広く公募をかけたもよいのではないか。

答 町内事業者を対象として公募をした。また、会社の在り方、

経営については原備、手数料の割合、業者との委託料などを総合的に見直し、改善を図っていくよう協議していく。

スキー場補助金の用途は

たかやまスキー場管理費（施設改修費等）

1億7,549万2千円

問 たかやまスキー場管理費の財源について、国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業補助金の用途は立っているのか。獲得できなかった場合の事業の見直しは。

答 令和5年度の申請はこの3月31日までが期限である。採択されるかどうかは4月から5月の審査の結果によるが、現状、獲得できるものと考えている。今後の状況を踏まえ、㈱マウンテン長和と調整が必要となる。

役場ネットワーク等更新

情報管理費

市内ネットワーク構築

委託料 4719万円

基幹システム共同化負担金 3193万7千円

1億3,352万1千円

問 町ホームページの更新、地域アプリや書かない窓口システムの導入、市内ネットワーク等の委託先はどこか。

答 ホームページ（HP）の更新、市内ネットワークの構築はプロポーザルで入札を行う予定である。地域アプリは㈱デンソー、書かない窓口システムは基幹システムで利用している㈱BSNインターネットとする予定。

問 事業はいつ完了するのか。また、財源はどうなるか。

答 HPリニューアル、地域アプリ

**令和5年度
一般会計
予算**

**賛成
討論**



賛成です!! 羽田公夫 議員



り、書かない窓口システムは単年で、市内ネットワークは電子機器類の調達が順調にいけば単年で完結する。財源は、HPと

市内ネットワークは一般財源、地域アプリと書かない窓口はデジタル田園都市国家構想交付金という補助事業を使う。

が生まれ、自治体DXを進め、誰もが簡単に証明書等の発行ができるシステム導入を行うこととしていきます。

住民生活に直結 待ったなし

議案第10号令和5年度長和町一般会計予算について、賛成の立場で討論を行います。

全体として町政の継続性を重視した予算編成となっており、

安心安全な町をつくる予算

令和5年度一般会計予算の内容は、新型コロナウイルス感染症について、交付金を有効に活用して関連する支援を行うとしており、令和元年及び3年災害の復旧完了を目指し、安心安全な町をつくることに配慮した予算となっております。

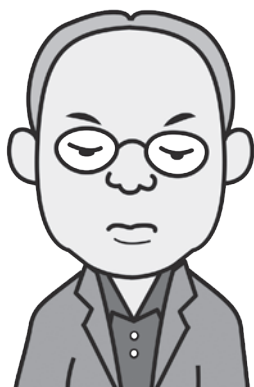
さらに、地域脱炭素化実行計画の策定を進め、脱炭素社会に向けた取組を進めるための予算

以上から、本予算案について速やかに可決すべきものと考えます。

（抜粋）

田福光規 議員 反対する!!

反対
討論



道の駅直売施設運営経費の委託料として計上されている1800万円の支出に反対します。2020年6月に開設した道の駅「マルシェ黒耀」の管理運営にあたり、㈱マルメモエイトと、23年3月までの約3年間の指定管理契約を結び、指定管理料として年間1800万円を支払ってききましたが、今回、再度、今後3年間の指定管理契約を結び、指定管理料を今までと同額とするとの提案です。「マルシェ黒耀」は、基本的には物販を行い、その委託手数料

により営業利益をあげる「公設民営」の施設です。町はブランドシユタかやまスキー場とは、「公設民営」の考えから、指定管理料を支払わず、営業利益が出た場合は、町に施設利用料を支払うという契約となっています。また、同様の農産物直売所である「和宿ステーション」も開設以来、町に施設利用料を支払っています。私は、「マルシェ黒耀」についても、今すぐには言いませんが、この方向をめざすべきであると思います。

指定管理料は減額・縮小を

長和町に提出された、「㈱マルメモエイトからの「指定申請書」によると、順調に売り上げは伸びており、委託販売手数料収入も増加。令和5年度の収支計画書では、委託販売手数料は今年度より1200万円の増加を見込んでいます。収支は、令和2年度、3年度と黒字を出しており、今年度はまだ正式には出ていませんが、若干の赤字見通しと聞いております。「公設民営」の施設であり、指定管理料の減

賛成します!! 渡辺久人 議員

賛成
討論



私は先の田福議員の反対討論に対し、賛成の立場から討論します。

実績と手腕に期待する

道の駅大型農畜産物直売所の指定管理者の指定及び指定管理料については、マルシェ黒耀オープン以来3年を経過したところで、改めて指定管理者の公募を行い、その結果、希望者が㈱マルメモエイト1社となった経過があります。また、指定管理料に関しては、㈱マルメモエイトと町との交渉も再三行われて

おり、その中で、売り上げが伸びたことに対して、経費も増加してきていることが示されています。また、昨今の物価高騰などが影響して、利益が出ていないなどの説明を考慮し、これまで3年間の経営の実績及び経験手腕を考慮した中で、更なる経営に期待するものです。

以上、令和5年度一般会計予算については、全体として町の発展に資するものであると認められ、賛成とします。(抜粋)

額縮小に計画的に取り組んで頂く必要があることから、私は、指定管理料の減額が必要であると考えています。しかし、予算上は今までと同額が計上されており、その妥当性について、予算特別委員会では質問しましたが、納得のできる回答を頂けなかったため、反対とします。(抜粋)

社会文教常任委員会審査報告



田福光規 委員長

社会文教常任委員会

委員長／田福 光規
副委員長／荻野 友一
委員／阿部 由紀子
羽田 公夫
森田 公明

社会文教常任委員会は、3月9日(木)に委員会を開催し、条例案3件、令和5年度特別会計予算案5件、補正予算案4件について審査し、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。

長和町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

問 家庭的保育事業とはどのようなものか。

答 家庭的な雰囲気の中で、0～2歳未満の子さん5人以下を対象

に保育を実施する事業のことである。保育園より小規模で、保育者の居宅等でも実施可能である。

令和5年度長和町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算について

問 近年、国保特別会計が安定経営になってきた理由はなにか。

答 平成30年以前は町の医療費負担分を町の国保税で賄う仕組みで、町の医療費が常に県の上位にあったことが国保会計の負担となっていた。現在は、県が国

保財政の主体となり、全県で医療費を均した上で、事業費納付金額を決定し、町がそれを支払う仕組みになった

ことが大きい。**問** 新型コロナウイルス感染症が5類に移行することで、医療費がまた増える懸念は。

答 懸念すべきことと考える。しかし、県が国保財政の主体となったことで、医療費が単年度で増えても、事業費納付金額は過去3年間の状況に応じて算出されるため、急に負担が大きくなるという心配はない。

令和5年度介護保険特別会計予算について

問 今後の介護保険サービスの特徴をどのように捉えているか。

答 介護保険サービスの今後については、在宅

サービスは減少傾向、施設入所サービスは増加傾向が続くという認識でいる。

令和4年度長和町一般会計補正予算(第12号)について

既定の予算総額に5733万8千円を追加し、予算総額を66億6992万1千円とする。

■ 和田小学校改修事業 610万円の増。

問 和田小ランチルームのエアコンを、3月の補正予算で計上する理由はなぜか。

答 映画やテレビの映像は著作権等により2次

答 令和4年度の国の補正事業で、町に有利な補正事業債の対象となるため、この時期の計上とした。工事は令和5年度へ繰越となる。
■ 黒耀石のふるさと保存整備費432万3千円の減。
問 町の縄文文化を発信するため、映画やテレ



「星くそ館」の展示

的な使用はできない。黒耀石体験ミュージアムでは、令和4年度の臨時交付金事業として学芸員の説明による展示解説や、遺跡の調査の様子などを紹介するビデオを作成し、オンラインでの体験ツアーとパッケージで提供する新事業の開発に取り組んでいる。これは、令和5年度に予定されるホームページのリニューアルに併せて運用し、魅力ある映像を活かした博物館運営事業の展開を目指す。
問 今年度、ミュージアムは予想を超える入館者があったというが、施設の収容人数の限界はどのくらいか。
答 5月の連休中には1日350名の来館者があった。1日の収容人数としてはこれが上限に近い。(抜粋)

総務経済常任委員会審査報告



原田恵召 委員長

総務経済常任委員会

委員長／原田 恵召
副委員長／佐藤 恵一
委員／龍野 一幸
小川 純夫
渡辺 久人

総務経済常任委員会は、3月10日（金）に委員会を開催し、条例案4件、令和5年度予算案4件、補正予算案5件、その他5件について審査し、すべての議案が可決、採択すべきものと決定されました。

令和5年度長和町観光施設事業特別会計
予算について

問 東屋を学者村第1期に建設することで、別荘地全体の利便性はどのようになるのか。

答 学者村第1、2、4期のオーナー様には使いやすい施設になるが、よう管理運用する。

令和4年度長和町一般会計補正予算（第12号）について

ふれあい食堂経営支援に対し、付帯決議。

■ ふれあい食堂経営支援補助金380万円の増。

問 ふれあい食堂について現状の説明を。

答 料理人の変更やコロナ禍の影響等で、お客が離れてしまった。令和4年11月中旬から新しい料理人を雇い運営をしており、客数は少し戻りつつある。

問 現在の料理人の雇用形態は。

答 ふれあい食堂は、振興公社の直営で運営している。以前は社員として雇用していたが、今は委託契約としている。

問 委託契約はどのような内容か。

答 調理業務の委託で、毎日来ている訳ではな

く、実績に応じ顧問料として支払っている。

問 経営支援補助金380万円の根拠がわからない。

答 ふれあい食堂はふれあいの湯の一部として事業を実施している。

令和4年9月末の決算では、ふれあいの湯全体で160万円の赤字となり、その後3カ月のふれあい食堂の赤字が160万円ある。また、振興公社の各部門は共通経費を支出しており令和4年10月から12月までの経費として60万円の支出となり、合わせて380万円となる。

ふれあい食堂単独では令和4年4月から12月まで574万円の赤字となる。令和5年も赤字が続くことも考えられるが、決して赤字すべてを補填するわけ

ではなく、振興公社の企業努力で頑張っていた。ただ、

要望 支援補助金については今回限りだというが、あり方検討委員会で、食堂の扱いについては議論のテーブルに乗っていない。個人的には、食堂を切り離すのが一番いいのではないかと考える。その辺も踏まえ、早めにより方検討委員会で結論を出してほしい。

■ 原案可決後、委員から付帯決議案が提出され、討論なく、賛成多数で可決した。

「ふれあい食堂支援金の根拠が曖昧である。支援額を380万円とした理由を明らかにすること。及び、食堂経営についてテナント方式など経営の改善策を早急に検討して議会に報告すること」という内容。（抜粋）



和田宿温泉 ふれあいの湯

意見書

「安保関連3文書」の閣議決定の撤回と安全保障政策について国会での慎重審議を求める意見書

・ 提出者 原田 恵召 議員
・ 賛成者 田福 光規 議員

政府は、昨年12月16日、我が国を取り巻く安全保障環境が急速に厳しさを増しており、防衛力の抜本的強化を図るためとして、「安保関連3文書（国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画）」の改定を閣議決定した。歴代政権がこれまで戦後一貫して否定してきた敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有や、防衛費を2023年から5年間で総額43兆円として、27年度にはGDP（国内総生産）比で2%へ増額することを明記した。

これまで、政府は、敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有について、1959年の政府答弁にある「平生から他国を攻撃するような攻撃的な脅威を与えるような兵器を持っていることは憲法の趣旨とするところではない」との認識により、憲法との関係から保有を認めてこなかった。今回の「安保関連3文書」の閣議決定は、国家や国民のくらしに重大な影響を与え得る国家の安全保障に関しての大転換にもかかわらず、国会での議論や選挙での国民への信を問うといった手続きを経ることなく行われたものであり、民主主義、立憲主義の立場から大きく逸脱するものであると考える。

また、政府は、防衛費増額の財源を税制措置で対応するとの増税方針を決めたが、現時点での増税は、コロナ禍や物価高騰で疲弊した国民生活・国民経済に更なる大きな打撃を与えることになる。また、不確実性が高まる国際情勢のもとで、平和主義を定めた日本国憲法を持つ日本国として今行うべきは、関係諸国との対話と外交により「戦

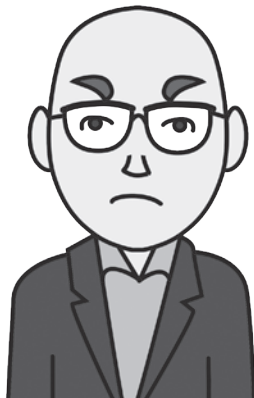
争を避ける努力」であり、そこそが国際社会において安全と生存を保持するための政治の責任である。

以上のことから、長和町議会
は、以下の措置を講じられるよう強く要請する。

1. 「安保関連3文書」に関する閣議改定を撤回すること
2. 防衛政策の大転換について国会での慎重な審議を行うこと
3. 日本の安全を保障するため、防衛力を強化する以上の、対話による外交交渉に努めること
4. 国民生活の実情に合わない防衛費増額のための増税は行わないこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

（全文）



提案する原田議員

★ 議案に対する議員の賛否結果 《賛成◎、反対⊖、議長は表決に加わらないー》（賛否の分かれたもののみ掲載）

議案	表決結果	阿部由紀子	龍野一幸	荻野友一	佐藤恵一	田福光規	羽田公夫	原田恵召	小川純夫	渡辺久人	森田公明
令和5年度長和町一般会計予算について	可決	◎	◎	◎	◎	⊖	◎	◎	◎	◎	ー
指定管理者の指定についてする条例の制定について（長和町道の駅大型農畜産物直売所及び付帯施設（マルシェ黒耀））	可決	◎	◎	◎	◎	⊖	◎	◎	◎	◎	ー
「安保関連3文書」の閣議決定の撤回と安全保障政策について国会での慎重審議を求める意見書	可決	◎	◎	◎	◎	◎	⊖	◎	⊖	◎	ー

- 1, ^{たふく こうき}田福光規 議員 …………… P.14
- (1) 新型コロナウイルス感染症への対策と対応
 - (2) 長和町の町営住宅の現状と改修計画
 - (3) 異常な物価高騰に対する町の取り組みは
- 2, ^{さとう けいち}佐藤恵一 議員 …………… P.15
- (1) 山林をどのように次世代につなげるか
 - (2) マツタケ山、アカマツ林の現況と今後
 - (3) 再生可能エネルギーの取組状況
- 3, ^{はらだ えしやう}原田恵召 議員 …………… P.16
- (1) コロナ禍における町の対応について(その3)
 - (2) 福祉灯油に続く新たな補助の考えについて
 - (3) 山村留学の推進について
 - (4) 移動式期日前投票所ができないか
- 4, ^{おぎの ともかず}荻野友一 議員 …………… P.17
- (1) 長和町における国民健康保険について
 - (2) 長和町の林業について
- 5, ^{わたなべ ひさと}渡辺久人 議員 …………… P.18
- (1) 長和町公共施設の管理運営について
 - (2) 公共施設の使用料金について
 - (3) 「地区担当職員制」について
- 6, ^{たつの かずゆき}龍野一幸 議員 …………… P.19
- (1) 人口減少対策について
- 7, ^{は た きみお}羽田公夫 議員 …………… P.20
- (1) 男女倉地区の振興策について
 - (2) 「真田丸」その後について
 - (3) コロナ禍からの学校行事等の再開は
 - (4) 移住者と地元民が気持ち良く生活するには
- 8, ^{あべ ゆきこ}阿部由紀子 議員 …………… P.21
- (1) お祭りから考える子供たちの未来
 - (2) 長和町公式 LINE アカウント開設の推奨
 - (3) 町外へ通学する中学生の給食費
 - (4) ケーブルテレビ番組の目的と改善点

質一般

8人の議員が 町政を問う！

3月定例会では、3月1日(水)3月2日(木)に一般質問が行われ、8人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



田福 光規
議員

長和町の町営住宅の現状と改修計画について

町営公営住宅の改修は計画通りの進捗か

多額の費用が必要であり、進んでいない

問 公営住宅と町営住宅それぞれの戸数と入居状況は。

それぞれの戸数と入居状況は。

答 企画財政課長 公営住宅は50戸中39戸、町営住宅は135戸中121戸が入居している。

している。

問 建物は法定耐用年数を超えていないか。

えていないか。

答 企画財政課長 町営・公営全185戸のうち、60戸が法定耐用年数を経過している。また、6戸は入居できない状況である。

できない状況である。

問 直近5年間の、町営・公営合わせての改修費用は。

営合わせての改修費用は。

答 企画財政課長 平成29年の504万8千円から令和3年は743万4千円と増加傾向にある。

問 新たな住宅建設の計画や取り壊しの予定はあるか。

答 企画財政課長 新たな住宅建設の計画はない。老朽化が著しい住宅は取り壊しや集約化等を検討する。

宅建設の計画はない。老朽化が著しい住宅は取り壊しや集約化等を検討する。

問 個別施設計画での改修費用と、その財源は。

用と、その財源は。

答 企画財政課長 経年劣化が進んでいる町営住宅37戸の長寿命化の試算で、990万6千円の費用を見込んでいる。補助金や起債等を模索しながら計画的に取り組んでいきたい。

が進んでいる町営住宅37戸の長寿命化の試算で、990万6千円の費用を見込んでいる。補助金や起債等を模索しながら計画的に取り組んでいきたい。

問 改修は当初の予定通り行われているか。

われているか。

答 企画財政課長 計画通りにはできていない。多額の費用がかかるため、町の予算全体の兼ね合いから後年度へ先送りとなっている。

費用がかかるため、町の予算全体の兼ね合いから後年度へ先送りとなっている。

問 公営住宅の改修や建て替

えの計画はあるか。

答 企画財政課長 50戸中48戸が耐用年数を経過しており、集約化して新たな住宅を建設する計画がある。

を建設する計画がある。

問 町営住宅の改修や建て替

えの計画は。

答 企画財政課長 耐用年数を経過している住宅7戸の改修を予定している。

を経過している住宅7戸の改修を予定している。

コーポ桜清水1棟早急に階段改修を

4月以降、新年度予算で実施する

問 コーポ桜清水1棟の改修計画はあるか。屋外設置の鉄製のらせん階段が至るところで腐食している。

ころで腐食している。

答 企画財政課長 大規模改修は予定していないが、階段部分の改修等を計画している。

いる。

問 緊急性があるが、いつ実施するのか。

の新年度予算の中で対応し

答 企画財政課長 躯体全体の改修予定はないが、外壁及び屋根の塗装を計画している。ただし、多

問 コーポ桜清水2棟の改修計画は。

計画は。

ていく。

答 企画財政課長 耐震診断を行う予定はないが、建築業者等に状況を確認して頂く予定で、亀裂について応急処置を取りたい。(抜粋)

業者等に状況を確認して頂く予定で、亀裂について応急処置を取りたい。(抜粋)



腐食が進むらせん階段



佐藤 恵一
議員

山林をどのように次世代につなげるか

山林をどう次世代に渡していくのか

後世に託せる施策を今後もしっかり

問 皆伐後の植栽は義務化されたのか。

答 産業振興課長 令和4年4月「伐採及び伐採後の造林の届出」の森林法による義務付けに併せ、特に効率的な施策が可能な森林は原則として、皆伐後には植栽による再造林を行うことが盛りこまれた。

問 相続等により所有者に連絡が取れない、荒れた個人所有林が増加しているが、具体的な対策は。

答 産業振興課長 法令改正で、令和2年度より固定資産税情報の市町村内部での利用が可能になり、林地台帳の信頼性が上がり、山林所有者の所在などが明確になると考えている。

問 土地所有者を明確にし、隣接するエリア全体で森林経営計画、伐採計画をたてることは可能か。

答 産業振興課長 小規模な林地をまとめて森林整備計画の対象となるエリアとしていく方法も考えられるので、住民の皆様にお知らせしながら対応したい。

問 荒廃している田畑を地目変更により非農地化した場合

答 産業振興課長 個人土地であるため、管理は所有者が行うものと認識しており、何らかの対策を講じることは難しい状況にある。しかし、対応策を検討していく必要性は感じているので、今後の課題としたい。

森林セラピィの拠点を設置しては

重要な森林の活用方法として捉えていく

問 国、県の推進する農林業・観光・医療の各分野が連携した取組である「森林セラピィ」施策を、新たな地域活性化策として、黒耀石

体験ミュージアム周辺の森を活用した、縄文人の息吹を感じながら森林浴ができる「学びとセラピィの滞在型森林セラピィの拠点」

合、今後、雑木林等となつて里山の景観維持や獣害駆除に支障をきたすと考えるが、町の対策は。

答 産業振興課長 黒耀石体験ミュージアム周辺は国史跡や国有地であり、確認や検討を行っていかなければ

できないか。
ならない事項が多々あるが長和町の面積の大部分を占める森林の重要な活用方法として、今後捉えていきたいと考えている。(抜粋)



長和町の豊かな森林資源をどう活用していくか



原田 恵召
議員

コロナ禍における町の対応について（その3）

今後の新型コロナワクチンの接種予定は

重症化リスクの高い人は、春と秋に2回

問 今後の新型コロナウイルス

スワクチンの接種予定は。

答 **こども・健康推進課長**

全ての人を対象に秋から冬にかけて1回、重症化リスクの高い人には春から夏と秋から冬の2回接種が予

定されている。

問 長和町のオミクロン株対応のワクチンの接種率は。

答 **こども・健康推進課長**

2月28日現在、町全体の接種率は75・2%で、長野県では62・2%である。

福祉灯油を実施する考えはないか

交付金が示されたら実施したい

問 上田市や東御市では消費

喚起事業で、チケットQRによりスマートフォンでの買物補助を行ったが、長和町では実施しないのか。

問 「福祉灯油」は寒冷地の長

和町ではありがたい制度である。物価高騰対策として実施する考えはないか。

答 **町民福祉課長** 町単独で

入は予定していない。これまでのように「長和の里地域いきいき券」を活用していきたいと考えている。

は難しい。次に国から物価高騰分としての対策交付金が示されたら、低所得者の方々等への生活支援等を是非実施したい。

山村留学制度で受け入れる考えは

取り組みを進めていきたい

問 山村留学制度により、子

どもや親を受け入れる考えはないか。人口増加や和田小学校の活性化にもつながると思うがどうか。

答 **町長** 和田小学校は現在

の児童数34人であり、山村留学して来た児童と交流ができることは子どもたちにも良い経験となり、人口増加や学校の活性化につながる。受け入れについて取り組みを進めていきたいと考える。

問 将来的に町に永住して頂

くようになれば人口の増加や地域の活性化にもつなが

ると思うがどうか。

移動式の期日前投票所を開設しては

選挙管理委員会で検討していきたい

問 町は経費や立会人の確保

等により、投票所の数を減らしてきているが、この先も減らしていく考えか。

答 **総務課長** 現時点ではそ

の考えはない。

問 前回の参院選から投票終

了時間を繰り上げたが、今後とも終了時間は午後7時までとするのか。

答 **総務課長** 終了時間につ

いては、今後も基本を午後

答 **教育課長** 県内でもいく

つかの市町村が山村留学に組み込んでおり、受け入れ方式、体験のあり方等について研究していきたい。

問 ワゴン車などに投票箱や

記載台等を一式積んで集会所を回る移動式投票所になれば、費用も掛からず、現在ある備品で投票ができると思うがどうか。

答 **総務課長** 選挙管理委員

会で検討していきたい。

(抜粋)



荻野 友一
議員

長和町における国民健康保険について

国民健康保険税の改定はどう進めるか

令和9年度までに資産割を段階的に廃止

問 人口の減少・少子高齢化が進む長和町において、国民健康保険の安定的な運営のための対策、施策はどうなっているか。

答 町長 「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」施行に伴う県の方針に基づき、国民健康保険の安定的な運営に取り組む。

答 町民福祉課長 少子高齢化への対策として、国保法の改正により、未就学児の被保険者を対象として保険税均等割りの半額を軽減する措置を行っている。長和町では6歳以上18歳未満の被保険者に対しても独自に

補助金を交付して保険税を軽減し、子育て世帯の支援を行っている。

問 長和町では、国民健康保険の収入と医療費負担の現状はどのようになっているか。

答 町民福祉課長 国民健康保険特別会計の運営状況は保険税収入と基盤安定負担金を合わせ、事業費納付金に対し880万8016円

不足している状況にある。令和3年度は、前年度繰越金があったことなどから、長和町国民健康保険事業保険基金からの繰り入れを行わず、安定した運営ができている。

問 長和町国民健康保険事業基金はどうなっているか。

答 町民福祉課長 長和町国民健康保険事業基金の総額は、現在1億5308万3

624円。県による保険税水準の統一化に向け、被保険者の急激な税負担の変化を緩和するよう、令和9年度までに段階的な税率改定



国保の保険証もマイナンバーカードに

を行っている中で、事業費納付金の不足額は基金を活用していきたい。

問 国保の安定的な運営のために、町民の健康は重要なポイントだが、町はどう考えているか。

答 ともも・健康推進課長 健診を受けて頂くことで早期発見・早期治療・重症化予防により医療費の抑制となる。依田窪病院など医療機関とも連携し、さらに受診勧奨に努めていく。

ゼロカーボンに向けた林業の実情は 森林整備計画により整備を進めていく

問 長和町の林業に関し、町の方針と施策は。

答 町長 長和町の林業は現在、長和町森林整備計画に基づき実施されている。これは、千曲川上流森林計画の指針に沿って策定され、

生し、動植物を守り、決して無くならない。山林を後世へ託せるような施策を続けていく方針である。

県東部の15市町村でも作成している。山林は、適正に管理維持していくことで再

答 産業振興課長 町の人工林の約9割が標準伐期齢に達しているため、計画的な主伐、再造林が必要になっている。(抜粋)



渡辺 久人
議員

長和町公共施設の管理運営について

公共施設の適切な維持管理は

縮減、建て替えする施設選定を慎重に行う

問 「長和町公共施設個別施設計画」では、施設の総数は279施設、今後40年間の維持更新コストは総額311億円、年間7.8億円と試算されています。計画の見直しも含め、町長はこの計画をどのように考え、どのようにすすめていくのか。

答 町長 築年数が相当経過している施設が全体の半数以上あるため、建て替えや長寿命化が集中してしまう恐れがある。住民サービスを低下させないよう、公共施設の総資産量の適正化についても取り組んでいく必要があると考える。

の集約化、複合化など資産の管理と利活用に取り組む必要がある。実効性のある計画はできているのか。

答 企画財政課長 令和3年度末に行った公共施設等総合管理計画の改定において

は公共建築物保有量の縮減

目標を延べ床面積で11%と改めた。建て替えや長寿命化、廃止による取り壊し等選択肢はあるが、財源や町民の利用状況など様々な角度から検証し、縮減すべき施設や建て替えする施設の選定を慎重に行っていく。

公共施設の使用料や減免等の見直しは

使用料や減免に係る基本的方針が必要

問 施設利用者と未利用者の負担の公平性の観点から、

また、算定方法の根拠の統一を図った上での使用料及び減免の条件などの見直しが必要と考えるが。

答 町長 公共施設の使用料

は、施設を利用する際に得られる受益の対価として

負担して頂くもので、住民全体の平等性を維持するため、減免基準等を検証すると共に明確にし、適切な運用をしていかなければならない。現在は基本となる考え方や基準がないので、算定に係る基本的方針が必要になると考える。

「地区担当職員制」、内容の見直しは

現在、制度の見直しや拡張は考えていない

問 「地区担当職員制」の目的

と、職員の配置構成、職務の内容、実績件数は。

答 町長 町内91の区に一人

あるいは複数の職員を割振っている。職務の内容は、連絡・相談などの取次ぎ、印鑑登録証明書や住民票の代理取得、災害の際の見回りなどであり、実績は全体で年間2〜3件である。

問 地区担当職員が担当する

地区・区に向き、課題を聴取する、区の会議に参加するなどできないか。

答 町長 職員に大きな負担

をかけることは望ましくな



補修改修が続く公共施設（長門老人福祉センター）

いと考える。現段階では目的の見直しや拡張については考えていない。（抜粋）



龍野 一幸
議員

人口減少対策について

宅地造成を行い、企業や学校の誘致を

団地造成の実施は慎重に検討したい

問 少子化対策など、これまでの当町の取り組みは評価しているが、人口減少の波は止まらない。どうとらえているか。

答 町長 特に子育て世帯に向けた支援策を重点に取り組んできた。人口減少については、非婚化・出生率の低下などが全国的な課題とされており、当町でも類似の傾向にあるが、ここ数年の出生者数は微増となっている。政府も少子化子育て対策を強化する。助成制度などを注視して人口減少対策に取り組んで行く。

問 町の出生数と死亡数による自然増減、転入・転出による社会増減は、

答 町民福祉課長 自然増減は、令和元年度86名、2年度79名、3年度79名、4年度は2月13日現在82名、いづれも減少。社会増減は、令和元年度68名、3年度15名減少しているが、2年度15名、4年度30名増加している。

問 宅地造成を行い、企業等の誘致推進を図るべきと考えるか。

答 産業振興課長 宅地を造成し環境を整えても、企業が決まらず「塩漬け」状態に陥る可能性もある。企業とのマッチング後に造成する手法もある。土地開発公社で行う必要性は感じるが慎重な検討が必要である。

問 保育園の統合が話題になるが、むしろ数を増やす青

答 町民福祉課長 自然増減による社会増減は、令和元年度86名、2年度79名、3年度79名、4年度は2月13日現在82名、いづれも減少。社会増減は、令和元年度68名、3年度15名減少しているが、2年度15名、4年度30名増加している。

写真を描いて移住促進の呼び水とする、逆の発想はでないか。

答 企画財政課長 手法の一つとしては正解かもしれないが、先ず、人口減少対策の取組を実践して、人口が増加したら協議検討していければと考える。

問 空き家バンクは受動的なシステムだが、移住希望者の要望を聞き出してこちらから積極的に紹介する「さかさま不動産」というような仕組みを、地域おこ

答 町民福祉課長 国の「地域少子化対策重点推進交付金」を活用して、新生活のスタートアップに係る経費を支援する自治体に、国がその一部を補助するもの。結婚される方への補助金について、財政部局と協議を進めていきたい。(抜粋)



町が造成して販売中！(立岩落合住宅団地)

し協力隊の協力を得て行うのはどうか。

答 企画財政課長 地域おこし協力隊のミッションとして、既に空き家バンクに關わっている。最近、辰野町

の「さかさま不動産」運営者と情報交換を行っており、もう少し先になるが、空き家バンクとも連携を図って取り組んで行く。

問 結婚相談員の方から「個人情報等の制限があり、思うような活動ができない」と聞く。立科町には「新生活生活支援事業補助金」がある。当町でもできないか。

答 町民福祉課長 国の「地域少子化対策重点推進交付金」を活用して、新生活のスタートアップに係る経費を支援する自治体に、国がその一部を補助するもの。結婚される方への補助金について、財政部局と協議を進めていきたい。(抜粋)



羽田 公夫
議員

男女倉地区の振興策について

長和町の南玄関地区の振興策は

黒耀水の販売は新たな企業と折衝中

問 過去にビックカメラ社が出資するアイケアジャパン社が、男女倉地区で黒耀水を取水して販売したいという話であったが、その後どうなっているのか。

答 町長 アイケアジャパン社から申し出があり、男女倉地区で取水した「黒耀水」を活用し、事業を実施する計画を立てた。当初、東京オリンピックまでに販売する計画で進めていたが、県外で建設中の現場があった上に、長和町工場の造成費が大幅にかさむ見込みとなり、町と会社で検討を重ねたが、一旦白紙に戻すこととなった。地元へは、状況説明していきたいと考えている。

問 アイケアジャパン社ができなければ、次の企業を探すことは考えられないか。

答 産業振興課長 現在、別の事業者から黒耀水を活用した工場誘致の提案が来ている。まだ、具体的ではないので地元地区へ話していないが、今後積極的に交渉していきたい。

問 新和トンネルの無料化によって、男女倉地区を、土地が少ない諏訪地域の皆さんの通勤可能圏と捉え、アパートや宅地の造成、更には工場誘致等の振興策は考えられないか。

答 町長 長和町の南の玄関口として、諏訪地域からの移住政策は必要で、検討課題と認識している。

答 企画財政課長 男女倉地区を含めた和田地区への町営住宅等アパートの建設については、ニーズを把握して研究していきたい。

問 大河ドラマ「真田丸」に登場した幸村の娘「すへさん」への想いが綴られた書状が長久保宿本陣に残ることがクローズアップされ、話題になった。この件は現在どうなっているか。

答 町長 幸村が娘婿の石合十蔵に宛てた書状は明治22年よりすでに「写し」のみが伝えられており、現在でも状況は変わっていない。

答 建設水道課長 和田地区全体を対象にして、菜園付きの宅地造成ができる土地を探しているが、なかなか見つからない現状である。

問 既に当時より旧本陣家に現存していなかったものと判断している。

答 文化財担当課長 長久保宿本陣が国史跡中山道に追加指定されたことを受け、国庫補助制度を活用して公開に向けた復元整備を進める。文化庁から課題とされ

「真田丸」後、長久保宿の整備計画は 国や県の補助金他、広く寄付を募りたい

ている資料調査の成果を持って工事に取り掛かるが、概算で、実施設計に1年・462万円、修復・復元工事に2年・1億1275万円の間と予算を見込んでいるが、昨今の経済情勢から2、3割増になるものと予測している。
(抜粋)



復元整備を進める長久保宿本陣



阿部 由紀子
議員

お祭りから考える子どもたちの未来

児童がお祭りを一緒に楽しめるように 関係者の皆さんの考えを伺っていききたい

問 長和町を代表するお祭りである「おたや祭」の2日目

1月15日、長門小学校が休みなのに、なぜ和田小学校は休みではないのか。「合併しても15年も経つのだが、長門小の子も和田小の子も、同じお祭りを一緒に楽しめるようになってもいいのでは」との声がある。和田小と長門小の子は後に同じ依田窪南部中学校へ通う仲間となる。同じ町で同じ経験や想いを共有してゆくことで、子どもたちの仲間意識や一体感も増すのではないかと思うがどうか。

答 教育課長 私も子どもの頃、おたや祭りの日には友達がたくさん来て、一緒に山車を見たり屋台で色々買

ったりと、皆で楽しく過ごした日の事は今でも良い思い出となっている。子ども

同士で過ごす時間は、楽しさの中にも相手のことを思いやる行動や心を自然と学んでいく大切な時間であると考えている。

問 長和町には、和田の宿場祭りや他にも地域ごとのお祭りがあると聞いている。

自分の住む地区だけに限らず、皆が町のお祭りに自由に参加し盛り上げていけたら良いと思うが見解は。

答 産業振興課長 多くの方がお祭りに参加しお祭りを盛り上げることは、地域を活性化していくために大切なことである。機会を捉えて、広く参加を望む声があることを話していきたい。

長和町には、和田の宿場祭りや他にも地域ごとのお祭りがあると聞いている。

町の公式LINEアカウントの設置を 長和町独自の地域アプリを計画している

問 長和町公式LINEアカウントの設置を希望するがその予定はあるか。

答 情報広報課長 町独自の地域アプリの導入を計画しており、ピンポイントで町

からのお知らせをする機能も装備する予定である。LINEでできることはこのアプリで補完できる部分が多いので、来年度はこちらに注力させて頂きたい。

中学生の給食費無償化は平等に実施を 昼食食材費の補助制度を検討していく

問 町外の中学校に通う生徒の中には学校給食がなく、お弁当を持参しているケ

スがある。こうしたご家庭には給食費の補助がないとのことだが、近年の物価高騰により家庭の負担も相当あるかと思う。どの学校へ通っても平等に昼食費の補助が受けられても良いのではないか。

答 教育課長 食材を含めた原材料費の高騰に対し、小中学校の給食費の値上げにも対応してきた。

答 教育長 給食のあるなしにかかわらず食材費の補助ができるかどうか制度のあり方も含めて検討したい。

(抜粋)



長和町の子どもたちが通う依田窪南部中学校

組合議会広域議会

■ 上田地域市町村議会議員研修会



上田地域の議会議員が一堂に会し、研修に取り組む

知恵を使って 小さな変革 を起こす



「誰でもが起業や経営の相談ができる」、支援方法は「お金を掛けず、知恵やアイデアを使い、新たな価値を生み出す」が基本。この考えのもと、鉄工所の金型、紡績業の

1月23日(月)上田地域市町村議会議員研修会が開催され、中小企業支援家・小出昭氏を招き「全国に広がるBizモデルの中小企業支援とは」の演題で、講演が行われました。長和町からは議員8名が参加しました。

日本の99.7%を占める中小企業を元気にすることは地域活性化に欠かせない。小さなアイデアでも、点が面に広がれば日本全国が元気になる。そう信じて今日も全力で挑戦を続けていると、力強く述べられた。

小出氏は、マニュアルの無い状態から企業家と話し合い、結論を見つけて出す。企業支援の在り方は「優秀な支援者の公募」

■ 上田地域広域連合議会行政視察

新設ちくま環境エネルギーセンター



ホコリ取り、菓子メーカーの商品開発等、様々な企業から相談が寄せられ、成果が生まれている。特に3点をアドバイス。(1)「真のセールスポイントを活かす」(2)「ターゲットを絞る」(3)「2社、3社と繋がれば良い結果が出る」、この3視点から「知恵を生み出す。その「知恵」を使って小さなイノベーションを起こすことが重要なのだという。

(報告：羽田公夫議員)

上田広域連合議会では1月24日(火)、令和4年6月から稼働を始めた長野広域連合の新ごみ焼却施設「ちくま環境エネルギーセンター」の視察を行いました。

(1) 受益地域：長野市南部・千曲市・坂城町の可燃ゴミの処理。
(2) 処理能力：100t／日(50t／日×2炉)。
(3) 事業：DBO方式(公共が資金を調達し、民間が一貫して設計・施行・運営を担う)。



長野広域連合の新しいごみ処理施設を視察

ちくま環境エネルギーセンターの建設候補地は平成17年から検討され、4年後の平成21年8月に選定。その後、地元区と協議を重ね、平成29年3月に「基本同意書」及び「基本協定書」が締結された。ここまで12年が経過、平成30年建設工事に着手、令和4年5月に竣工した。

上田地域広域連合においても、最重要課題の一つである資源循環型施設建設について、環境影響評価の現地評価が始まり、建設候補地周辺の皆さんとの話し合いを継続し、一步一步着実に進めているところである。

ごみ処理施設は、住民が快適な生活環境を維持するためになくてはならない施設であるが、建設までは長い年月が必要となる。引き続き丁寧な説明と理解を求めていく必要がある。

(報告：渡辺久人議員)

上田地域広域連合においても、最重要課題の一つである資源循環型施設建設について、環境影響評価の現地評価が始まり、建設候補地周辺の皆さんとの話し合いを継続し、一步一步着実に進めているところである。

ごみ処理施設は、住民が快適な生活環境を維持するためになくてはならない施設であるが、建設までは長い年月が必要となる。引き続き丁寧な説明と理解を求めていく必要がある。

(報告：渡辺久人議員)

■ゼロカーボン実現に向けた研修会



2030年までの 対策が 重要である



脱炭素に関し、藤川さんと質疑応答

まず、気候変動の現状に関する説明があり、特に異常気象による豪雨災害リスク、山火事リスクの増大の懸念に触れ、2050年までにゼロカーボンを実現するためには、2030年あと7年後までの対策が重要であると話された。また、気候変動は世代間の不公平を生んでおり、このままではあまり二酸化炭素を排出していない若い世代が、気候変動が加速する地球

1月27日(金)、「ゼロカーボン実現に向けた研修会」を町と合同で開催。NPO法人上田市民エネルギー理事長の藤川まゆみ氏を講師に招き、役場職員19人と議会から7人が参加し、講演と質疑を行いました。

講師の藤川氏は、市民出資型太陽光発電「相乗りくん」事業、断熱ワークショップ、上田市リバーズ会議の開催など多岐に渡る取組をされている。

(温度上昇、災害、病気、食料不足...)で、生きなければならぬとの言葉は大変インパクトがあった。ここ30年間で約半分の二酸化炭素を排出した世代に、「なんとかしないと」という気づきがあった研修会であった。多様な取組が必要で、一朝一夕では解決しない問題であり、継続して取り組んでいく必要があると考える。

(報告：佐藤恵一 議員)

■消防団本部と議会との意見交換会

消防活動を議会 はどう 支援するか



1月31日(火)、長和町消防団の活動の現状と課題について、長和町消防団黒澤団長をはじめ消防団本部の皆さんと議員との懇談会を開催しました。

長和町消防の団員数の減少傾向、新規募集による団員数の増員は早急の課題として取り上げられた。ここ数年団員数は落ちているが、年額報酬や出勤報酬の待遇改善に加え、消防団員の使命感に支えられているものと感じた。



消防団活動 令和5年度辞令交付式

詰所や設備の更新についてはいろいろ課題が出されたが、財源等をきちんと考えて提言できるように取り組む。

消防団の福利厚生について、町の消防団応援シヨップは平成29年以降拡充が図られていない。拡充活動だけでなく、消防団員と家族に対する福利厚生制度の拡充を諮っていきたくと考える。

災害時等の消防団員の

家族に対する安全確保の必要性に触れ、活動時には家族の安全について地域、行政、自主防災組織などで支援できるように日ごろから協力体制を構築しておく必要を感じた。

また、女性団員の増加に伴い、施設のトイレや更衣室などの整備の必要性、女性が行動できる業務内容の検討など、働きやすい体制づくりの必要性について議員より提案があった。

(報告：佐藤恵一 議員)

委員会視察研修報告

■ 下諏訪町・長和町 議会議員交流会



下諏訪町議会議員とスキー交流会を実施

スキー交流で地域の観光を考える



Ogino

2月3日(金)、ブランシユたかやまスキー場で、スキーとスノーシューを通じて下諏訪町と長和町の議会議員交流会が開催されました。下諏訪町議会より4名の議員を迎え、長和町から6名が参加しての楽しい交流会となりました。

最初に、㈱マウント長和の小林社長に出席して頂いて、ブランシユたかやまスキー場の運営方針、今シーズンのスキー場の運営状況等について説明を受け、8ピークスリゾートの活動を含め、地域の観光事業の活性化に向けた問題点と解決策について意見を交換した。

その後、スキー5名とスノーシュー5名に分かれてスキー場山頂を目指し、山頂より周辺のスキー場と自然景観を観察した。スキー場エリアの包括的な集客活動が必要なることを確認し、互いの町の観光事業の発展につい

てスキーを楽しみながら話し合った。

当日のスキー場のコンディションは大変良く、新しい降雪機の性能を充分に感じる事ができた。コロナ禍により冷え込んでしまった地域の観光事業のこれからの巻き返しに大いに期待したい。また、地域が繋がる議員同士で地域の発展を一緒に考えることは続けていきたい。

(報告：荻野友一議員)

■ 長野県地方自治政策課題研修会 (動画視聴)

選ばれるには町の魅力づくりが重要

Tatsuno



動画視聴により地方移住についての研修を実施

山村、柳沢氏は、信州に移住して来た立場からの地域との関わり方やネットワークづくりの重要性、利害を共にするコミュニティ形成と地域の魅力発信の大切さを講話。視聴後、全議員で講演内容に関する所見を話し合った。移住者、Uターン、地元住民である議員それぞれが、今後の町の在り方などを語り、活発な意見が出された。

この研修会は22年11月4日に開催されたが、長和町議会は新型コロナウイルスの拡大を鑑み、参加を見送ったもの。2月21日(火)役場会議室で動画により研修。(1)都会からの回帰 稲垣文彦氏、(2)農ある暮らしの実践 山村まゆみ氏、(3)地方移住と超まちづくり 柳澤拓道氏の3名の公演を拝聴。稲垣氏は、地方移住への関心度の現状と、希望する地域や住居・就労形態などの集計データを紹介。

移住者の立場からは成功を示すことの必要性があるという意見が。田舎があることは恵まれているという自覚や移住を受け入れる私たちの気持ちの整理が必要であること、「選ばれる町」にしなければならぬ何が必要か、等々が出された。森田議長は、定住のみにこだわらず、出たり入ったりする中で選ばれる魅力ある町をつくる事が大切だろうと話した。

(報告：龍野一幸議員)

■ 上田地域広域連合議会 2月定例会



上田地域広域連合議会議場（上田市丸子自治センター）

地域医療対策 課を新たに 設置します



(4) 地域医療対策課 地域医療対策の企画・立案、取り組み。

(3) 広域計画 令和5年度からの広域計画（広域幹線道路網構想・計画を含む）を策定。上田地域を取りまく社会情勢の変化を反映した全17項目を掲げ、SDGsとの関連付けを行い、持続可能な町づくりに取り組む。

令和5年2月22日、上田地域広域連合議会定例会が開催され令和5年度当初予算など12議案を審議、可決されました。

(1) 資源循環型施設建設 諏訪部自治会と協議できていないが、建設予定地の皆様とは誠心誠意向き合い、早期建設に向けて着実に進めていく、9月を目途に現地調査を終了し、3段階目の準備書の手続きに着手する。

(2) 条例改正 斎場の利用区域の廃止及び利用料の見直しが行われた。両斎場とも指定管理者は㈱さがみ典礼となった。

■ 上田市長和町中学校組合 3月定例会

中学校のエレベーターを改修します



3月20日(月)、中学校組合議会定例会が開催され、令和5年度予算、令和4年度補正予算について審議を行い、すべての議案が全員賛成で可決されました。

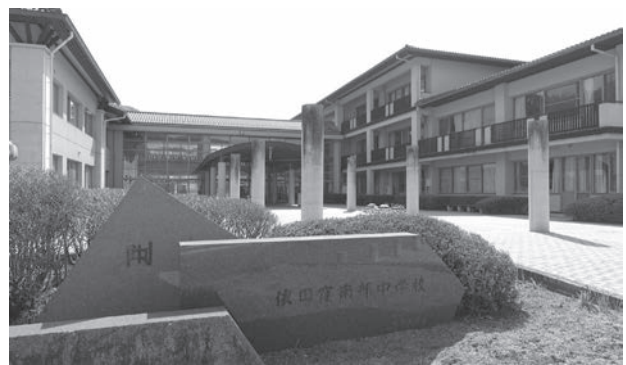
(1) 令和4年度一般会計補正予算実績に伴い420万6千円減額し、1億1986万2千円となった。

(2) 令和5年度一般会計予算前年より3660万円増の総額1億5980万円となった。組合負担金は1億250万7千円（前年比

R5 上田地域広域連合予算

会計	(単位:千円)
一般会計	2,399,228
(丸子クリーンセンター)	343,115
ふるさと基金特別会計	110,689
介護保険特別会計	218,891
消防特別会計	2,534,308
合計	5,450,798
長和町負担金	253,206

医療従事者確保、病院群輪番制、市町村や機関との連絡調整を行い、圏域内での二次救急医療の完結を目指す。(報告：渡辺久人議員)



上田市長和町中学校組合立の依田窪南部中学校

741万2千円増)で、負担割合は、長和町64・40%、上田市が35・60%。

支出の主なもの、学校施設改修工事(エレベーター改修)2970万円、エレベーター改修工事設計監理委託料196万1千円、教職員パソコンリース料192万5千円、給食室塗床修繕費226万6千円、施設整備事業基金積立金500万円等である。

(報告：田福光規議員)

令和5年度 中学校組合一般会計予算 (単位:千円)

会計	令和5年度	比較増減
議会費	224	49
総務費	1,501	501
教育費	9,816	△830
教育総務費		
中学校費	131,996	35,972
公債費	14,665	540
予備費	1,598	368
合計	159,800	36,600

■ 依田窪医療福祉事務組合議会 3月定例会



依田窪病院の 医師体制が 充実します



Abe

国保依田窪病院

3月20日(月)、依田窪医療福祉事務組合令和5年3月第1回定例会が開催されました。令和5年度予算案5件、令和4年度補正予算案3件について審議し、採決の結果、すべて全員賛成で可決されました。

令和4年度、依田窪病院は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、これまでの感染者数を大幅に上回る大勢の感染者の診療に対応し、公立病院としての役割を果たしてきた。この4月からは信州大学の准教授として活躍されていた地元出身の城下医師が常勤医師として勤務され、更に県派遣医師2名と自治医科大学卒の医師1名が着任し、より充実した体制になる。5月の連休明けより新型コロナウイルスは季節性インフルエンザと同じ5類に変更となるが、今後も適切な医療の提供に務めて頂けるよう協力をしていきたい。

令和5年度 医療福祉事務組合予算 (単位:千円)

会計	令和5年度	比較増減
一般会計	242	0
病院 事業収支	3,631,783	316,291
病院 資本的支出	586,763	42,208
老人保健施設	573,974	16,006
訪問看護ステーション	60,277	6,492
居宅介護支援事業所	30,002	△3,300

(報告:阿部由紀子議員)

森田議長の議会概説(8)

● 新型コロナウイルス感染症も収束しつつあり、皆様と顔を合わせて話す日が楽しみですね。長和町議会も町民との対話の機会を増やしていきます。

問 「議会(定例会)はどのように進むの?」②

答 長和町議会の本会議は、午前9時30分に開会することが条例で定められています。開会5分前に号鈴が鳴ります。議員は定刻までに出席の通告(名札板を点灯)し、議場に入り(参集)、標柱を立て、議席に着かなければなりません。出席議員が定足数(半数以上)に達し、定刻になると、議長が開会を宣告します。● 次回は、本会議です。



■ マチイロアプリを入れると、スマホやタブレットでながわまち議会だよりを見ることが出来ます。



★表紙写真の説明★

〈古町「駒形岩」の春〉

古町「立岩」の名の由来となっている「駒形岩(こまがたいわ)」は、依田川の右岸に垂直な岸壁が屹立し、その岩肌の下部には彫り込まれたようにくつきりとした馬の姿が見られます。

この駒形岩にはいくつかの伝説があります。

「防人に召された父を訪ね、幼い兄妹が馬に乗って立岩までやって来たところ、霧で前方を見失い、高さ数十メートルもある岩の頂から馬もろとも依田川に転落してしまつた。

兄とその馬は命を失つたが、傷ついた白馬に抱かれた妹はけが一つなく河原に倒れていた。



この時から依田川の岸に立つ岩肌

に駒形が現れ、妹は防人からの帰郷の旅路を急ぐ父とこの場で再会をはたす……。」

(写真は、対岸から見た駒形岩)



「議会モニター」会議で意見を伺う

■議会だよりモニターの皆様には、3月定例会から、会議の傍聴・視聴をお願いし、議会運営のようすなどを観察して頂きました。その後、アンケートの記入提出を依頼し、3月30日(木)に第2回モニター会議を開催し、様々なご意見ご感想を伺いました。提出された意見の一部を掲載します。

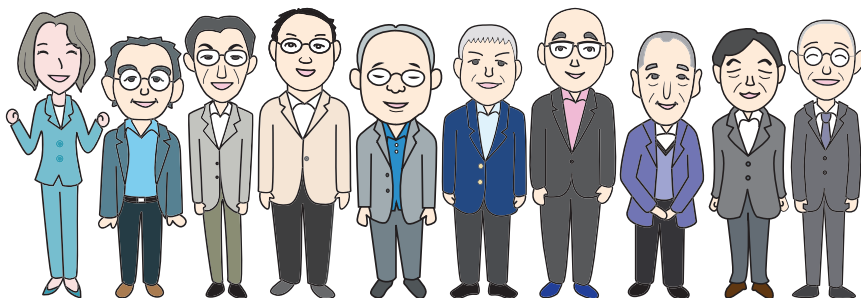
第2回議会モニター会議 貴重なご意見を頂きました!!

【議会だよりモニターの意見・感想など】

- 一般質問 傍聴視聴する町民の理解を深めるためにも、必要に応じてグラフやデータを掲示、或いは、モニター等に表示して説明することはできないか。
- 一般質問 前段の国の政策などは質問者が要約し、町としての施策を質問した方が理解しやすい。
- 予算特別委員会 多くの質問がされていた。事業自体の是非や予算の増減についての質問があり、町政に対するの監視機能が働いていると感じた。
- 予算特別委員会 議員の質問後、他の議員の発言を委員長が促すのは、良い差配だと感じた。自由闊達な意見の交換により、内包する問題も現れてくるように思う。
- 常任委員会 疑問に思った事業についてしっかり質問していた。用語の説明がされないため、正しい選択か判断できない。
- 常任委員会 議場で傍聴する方に、予算書・予算概要等の資料を貸し出したかどうか。また、委員会での質問内容は広範囲で、事前の通告が必要ではないか。
- 議会を通して 町運営のための決め事の多さを改めて実感した。議員からの要望や提案に対する町の「検討」は、その後どう進展するのか。(抜粋)
- 提出された質問や意見は委員会等で検討し、できる限り速やかに、対応または回答します。

【議会モニター】追加募集します!!
議会の運営や活動について、町民の皆様のご意見をお聞かせ下さい。

- 「議会モニター」の皆さんには、可能な範囲で本会議や委員会を傍聴して頂き、実際に議会の活動に接して、議会のあり方や運営の仕方、町政に対する取り組み方など、議会に対する要望や提言を行って頂きたいと考えています。
- 任務(1)可能な日時に本会議や委員会を傍聴または視聴し、配布されるアンケートに回答する。
- (2)議会だより、議会HP等を閲覧し、意見を提出する。
- (3)議会モニター会議に出席して意見を述べる。
- ★可能な範囲で結構です!
- 定員 10名
- 任期 6年2月23日まで
- 募集 追加募集中です!
- 申し込み 議会事務局
☎0268(75)2059
または、議員までお願いします。



長和町 あの人を訪ねて

— 第16回 —



ふるばやし けんじ

古林 健二 さん

(信州・長和町観光協会)

略歴・活動

大阪市出身。大阪・東京で雑誌・書籍のデザイン・編集に携わり、2010年に移住。観光協会、スポーツコミッション共に事務局長を担当する。

広報常任委員会が町民の皆様を訪ねて、意見や活動をお聞きします。

問 長和町観光協会に勤めるきっかけは？

答 長男の出産を機に妻の実家がある上田市に移住しました。東京では待機児童問題が表面化してきた頃で、編集業はブラックな業態であったことから、子育てができないと思い、移住を決断しました。

当初は町振興公社やU・C・Vなどに、電話でスタッフ募集の有無を確認しましたが、空きがなかったため、ハローワークに行き、観光協会の募集を見つけました。当時は霧ヶ峰・美ヶ原中

央分水嶺トレイル事業が本格稼働する直前。アウトドア好きであり、タイミングも合ったことから勤めることができました。

問 長和町の印象は？

答 関西生まれの私にとっては「長野県Ⅱ白馬」のイメージしかなく、長和町の存在自体知りませんでした。実際に面接のタイミング(7月頃)で町を散策しましたが、空と緑のコントラストが美しく、時間のスピードが穏やかで、気持ちいい環境だと思いました。

問 長和町の観光の可能性は？

答 可能性があちらこちらにあると思います。雑誌で培った切り口や見せ方を長和町に当てはめ、既存のものをより魅力的に都市部や若い世代に発信していきたいと思っています。

問 今後やりたいことは？

答 2021年に長和町スポーツコミッションを立ち上げました。「スポーツ」という切り口から、長和町の自然や文化を繋げ、これまでなかった組み合わせで観光振興を推進していきたい。

具体的には、自転車やモルツクなど長和町と相性の良いコンテンツを組み合わせて、若い世代の獲得を目指します。また、旧和田中学校や中山道、黒耀石などの文化資源とトレーニングやMTBなどを組み合わせ、インバウンドの獲得を目指したいと思います。

個人的には、和田地区が宿場町の面影が残り、若い人々の流入も目立つことから今後の観光の核になると思いますので、旧和田中学校を拠点に、観光と地域住民の皆様が集まる場所にしていきたいと思っています。

長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の考えなどを掲載しています。第70号は、龍野一幸 議員です。

▼新年度になりました。コロナ禍の制約が緩和され、以前とは違う「日常」を迎えております。▼町は、ゼロカーボンの実現に向けた事業やDX推進に向けた事業を予算化しました。

た。従来の太陽光発電設置補助に加え、蓄電池設置補助も始まります。▼町のHPのリニューアル、役場窓口のデジタル化が推進されます。書かない窓口システム導入が計上されました。マイナンバーカードがあれば、各種証明書の発行が簡単になります。取得していない方は役場窓口にご相談下さい。対面サービスが無くなるわけではありません。▼小職も含め肩身の狭い愛煙家の皆様、町のたばこ税収入は3700万円。貴重な財源です。購入は町内で！

ながわまち 議会だより

広報常任委員会

- 委員長 佐藤 恵一
- 委員 阿部由紀子
- 田福 光規
- 原田 恵召
- 渡辺 久人
- 編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp